

2019年8月28日

大阪府議会2025年大阪・関西万博推進特別委員会

大阪・関西万博の開催に向けた取組み

**EXPO
2025**
OSAKA, KANSAI, JAPAN

2019年8月
大阪府政策企画部万博協力室

〔本日の内容〕

- 1 国際博覧会について
- 2 大阪・関西万博の概要
- 3 万博開催の意義
- 4 これまでの誘致活動
- 5 開催に向けた現在の取組み

1 国際博覧会について

1-1 万博の推移

世界中の人々が参加する国家プロジェクト

〔人類共通の課題を解決する場〕

《20世紀まで》

国威発揚型

総会決議
B I E

1994年

「人類共通の課題の
解決策を提示」

《21世紀から》

理念提唱型

国際博覧会条約に基づく2種類の国際博覧会

登録博覧会

【大規模博覧会】

- ・5年に1回開催
- ・期間は6か月以内

【国内での開催実績（旧 一般博）】

- ・大阪万博（1970）
- ・愛知万博（2005）

認定博覧会

【小規模博覧会】

- ・2回の登録博の間に1回開催
- ・期間は3か月以内

【国内での開催実績（旧 特別博）】

- ・沖縄国際海洋博覧会（1975）
- ・国際科学技術博覧会（1985）
- ・国際花と緑の博覧会（1990）

※ 1996年以前は「一般博」と「特別博」に区分されていたが現在は「登録博」と「認定博」に区分されている。

1-2 過去の国際博覧会とそのテーマ

- 当初は国威発揚や殖産興業がテーマの中心であったが、1994年BIE総会において「人類共通の課題の解決策を提示」が決議され、21世紀に入り、地球的課題と人類社会の持続的な発展がテーマの中心に。

開催年	BIE分類	開催国	名称	テーマ
1851		イギリス	ロンドン万国博覧会	
1853		アメリカ	ニューヨーク万国産業博覧会	
1855		フランス	パリ万国博覧会	
(中略)				
1937		フランス	パリ万国博覧会	「現代生活の中の芸術と技術」
(中略)				
1970	一般博	日本	日本万国博覧会（大阪万博）	人類の進歩と調和
1974	特別博	アメリカ	スポーケン国際環境博覧会	汚染なき進歩
1975-1976	特別博	日本	沖縄国際海洋博覧会	海—その望ましい未来
1982	特別博	アメリカ	ノックスビル国際エネルギー博覧会	エネルギーは世界の原動力
1984	特別博	アメリカ	ニューオーリンズ国際河川博覧会	河の世界—水は命の源
1985	特別博	日本	国際科学技術博覧会（つくば博）	人間、居住、環境と科学技術
1986	特別博	カナダ	バンクーバー国際交通博覧会	動く世界、ふれあう世界
1988	特別博	オーストラリア	ブリスベン国際レジャー博覧会	技術時代のレジャー
(1990)	(特別博・園芸博)	(日本)	(国際花と緑の博覧会)	(花と緑と人間生活のかかわりを捉え、21世紀へ向けて潤いのある豊かな社会の創生を目指す。)
1992	一般博	スペイン	セビリア万国博覧会	発見の時代
	特別博	イタリア	ジェノア国際船と海の博覧会	クリスチアー・コロンブス—船と海
1993	特別博	韓国	大田(テジョン)国際博覧会	発展のための新しい道への挑戦
1998	特別博	ポルトガル	リスボン国際博覧会	海洋—未来への遺産
2000	一般博	ドイツ	ハノーバー万国博覧会	人間・自然・技術
2005	登録博	日本	2005年日本国際博覧会（愛知万博）	自然の叡智
2008	認定博	スペイン	サラゴサ国際博覧会	水・都市の持続可能な開発
2010	登録博	中国	上海国際博覧会	より良き都市、より良き生活
2012	認定博	韓国	麗水(ユス)国際博覧会	生きている海と息づく沿岸
2015	登録博	イタリア	ミラノ国際博覧会	地球に食料を、生命にエネルギーを
2017	認定博	カザフスタン	アスタナ国際博覧会	未来のエネルギー
2020	登録博	アラブ首長国連邦	ドバイ国際博覧会	心をつなぎ、未来を創る
2023	認定博	アルゼンチン	ブエノスアイレス国際博覧会	人類発展への科学、革新、芸術、創造性

1-3 日本における国際博覧会

	1970年	1975年	1985年	1990年	2005年
名称	大阪万博	沖縄海洋博	つくば博	大阪園芸博 (花博)	愛知万博 (愛・地球博)
区分	登録博 (一般博)	認定博 (特別博)	認定博 (特別博)	認定博 (特別博)	登録博
テーマ	人類の進歩と 調和	海－その望まし い未来	人間・居住・環 境と科学技術	－	自然の叡智
来場者数	約6400万人	約350万人	約2000万人	約2300万人	約2200万人
参加国等	76か国 4国際機関	36か国 3国際機関	47か国 37国際機関	82か国 55国際機関	121か国 4国際機関

⇒ 2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）は、大規模な「登録博覧会」

2 大阪・関西万博の概要

テーマ

いのち輝く未来社会のデザイン

「Designing Future Society for Our Lives」

サブテーマ

- ◆ 多様で心身ともに健康な生き方
- ◆ 持続可能な社会・経済システム
 - **真の豊かさを感じられる生き方、それを可能にする経済・社会の未来像**を参加者で共に創る。

コンセプト

未来社会の実験場「People's Living Lab」

2-2 大阪・関西万博の概要

■ 名称

◆日本語（正式）：2025年日本国際博覧会 / （略称）：大阪・関西万博

◆英語：EXPO2025, OSAKA, KANSAI, JAPAN

■ 開催期間

2025年5月3日（土）～11月3日（月）までの185日間

■ 開催場所

夢洲

約155ha

■ 入場者（想定）

約2,800万人

■ 開催経費

<会場建設費>

1,250億円（想定）

<運営費>

820億円（想定）



2-3 会場イメージ



Pavilion World **パビリオンワールド**

あえて中心をつくらない分散型の会場デザイン。個と個の関係、多様性の中から生まれる調和と共創によって形成される未来社会を表現。2つのエントランスと5つの大会場をつなぐようにメイン通りを設置し、その上には大屋根を設置。

Green World **グリーンワールド**

再生可能エネルギー施設・広場・グランピング施設などで構成。

Water World **ウォーターワールド**

水上ホテル・VIP用レセプション施設で構成され、花火や噴水で演出。



大広場：「空」 くう 「空」とは、固定的実体、もしくは私のないことや、実体性を欠いていることを意味する。

会場内の5カ所に「空」(くう)と呼ばれる大広場を設置。AR・MR※技術を活用した展示やイベントなどを行い、来場者の交流の場とする。

※AR:拡張現実、MR:複合現実



来場者にやさしい会場

メイン通りの間をつなぐ通りには水路や緑の並木を整備。



美しい景観

南西側を望む夕景の会場鳥瞰図。淡路島、明石海峡大橋を背景に、美しい景観が広がる。

■「待ち時間ゼロ」の万博

- ・会場内の移動時間等を活用した参加型実証実験を行うことで、体験あふれる環境を提供
- ・IoT活用により、施設の空き状況を明確化し、会場を快適に巡ることができる



■「EXPOテーマ体験」プログラム

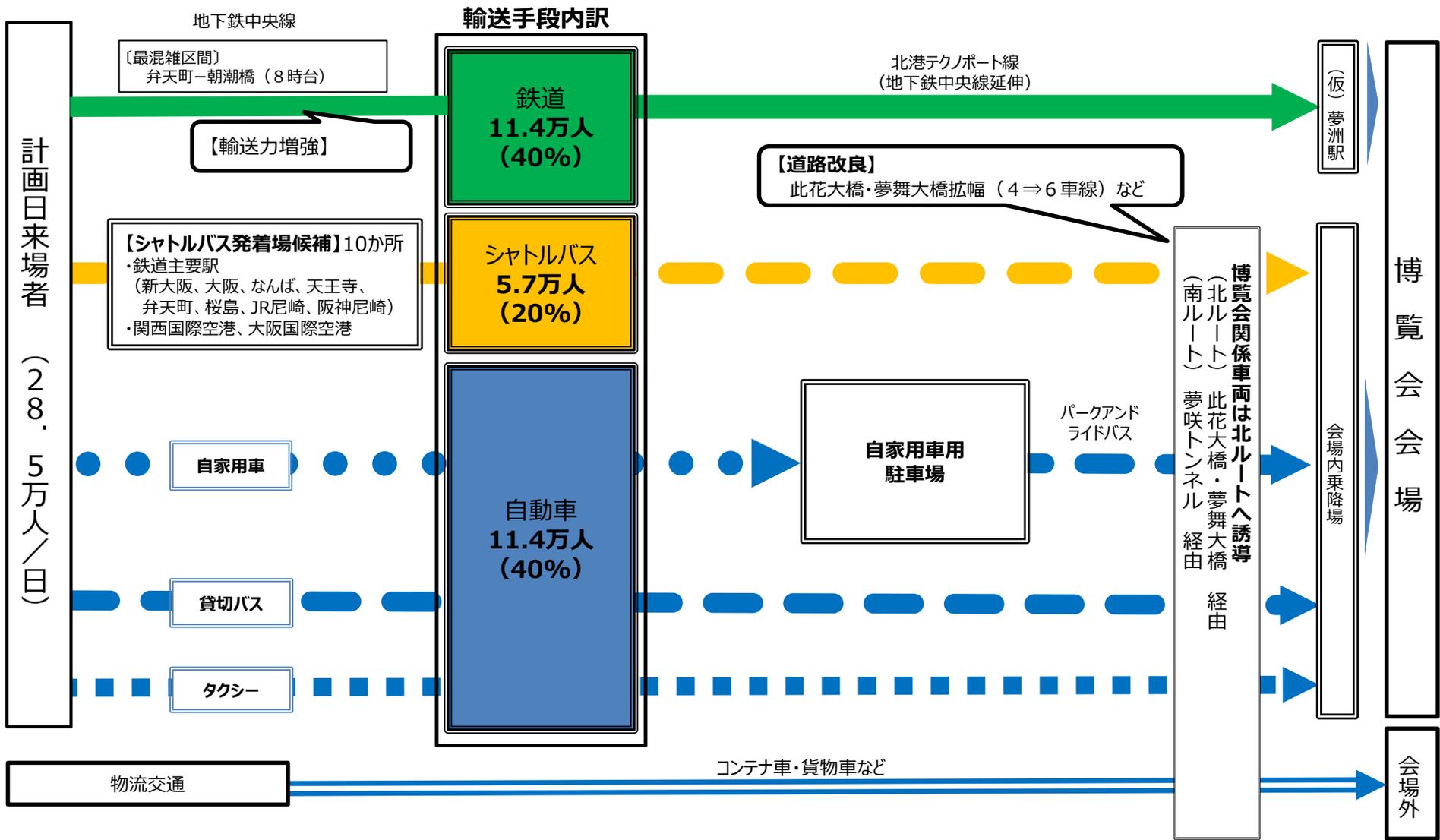
- ・来場前にPeople's Living Labの特設サイト上のバーチャル会場で出迎えの演出
- ・来場者へのオリエンテーションとガイダンスを通して、テーマやメッセージを映像や展示を中心に紹介
- ・未来社会の共創の体験ができるプログラムを実施



⇒「10歳若返る万博」
「健康になる万博」をめざす

2-5 会場へのアクセス（輸送の流れ）

- 総来場者数 2,820万人（国内 2,470万人、海外350万人）
- 計画日來場者数 28.5万人※（国内 25万人、海外3.5万人）
- 時間ピーク率 20.8%※（8時台）



2-6 会場へのアクセス（輸送ルート）



【主要経路 凡例】

シャトルバス発着場	: 発着場名称
シャトルバス	:
P&Rバス	:
鉄道経路	:

3 万博開催の意義

3-1 2025年万博開催の意義

- 万博が持つ、「圧倒的な求心力・発信力」「世界との出会いによる人の交流促進」により、イノベーションを巻き起こし、日本経済を活性化。
- 万博には世界中の叡智が結集。人類共通の課題の解決を提示。大阪・関西・日本発の技術や取組みが世界の健康長寿など様々な課題解決に貢献。SDGs（持続可能な開発目標）達成にも寄与。
- 経済波及効果は約2兆円にのぼる。2020年東京オリンピック・パラリンピック後の大阪・関西・日本の成長を牽引する起爆剤に。

3-2 キーワード「SDGs」

- 2015年国連サミットで、2030年までの国際目標として、
「**持続可能な開発のための2030アジェンダ**」を採択
- 17のゴール**からなる「**持続可能な開発目標（SDGs）**」を掲げている。
⇒これら課題の解決により地球上の誰もが住みやすい環境づくりを！
⇒2025年時点で大阪・関西から解決策を世界に発信しよう！

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD

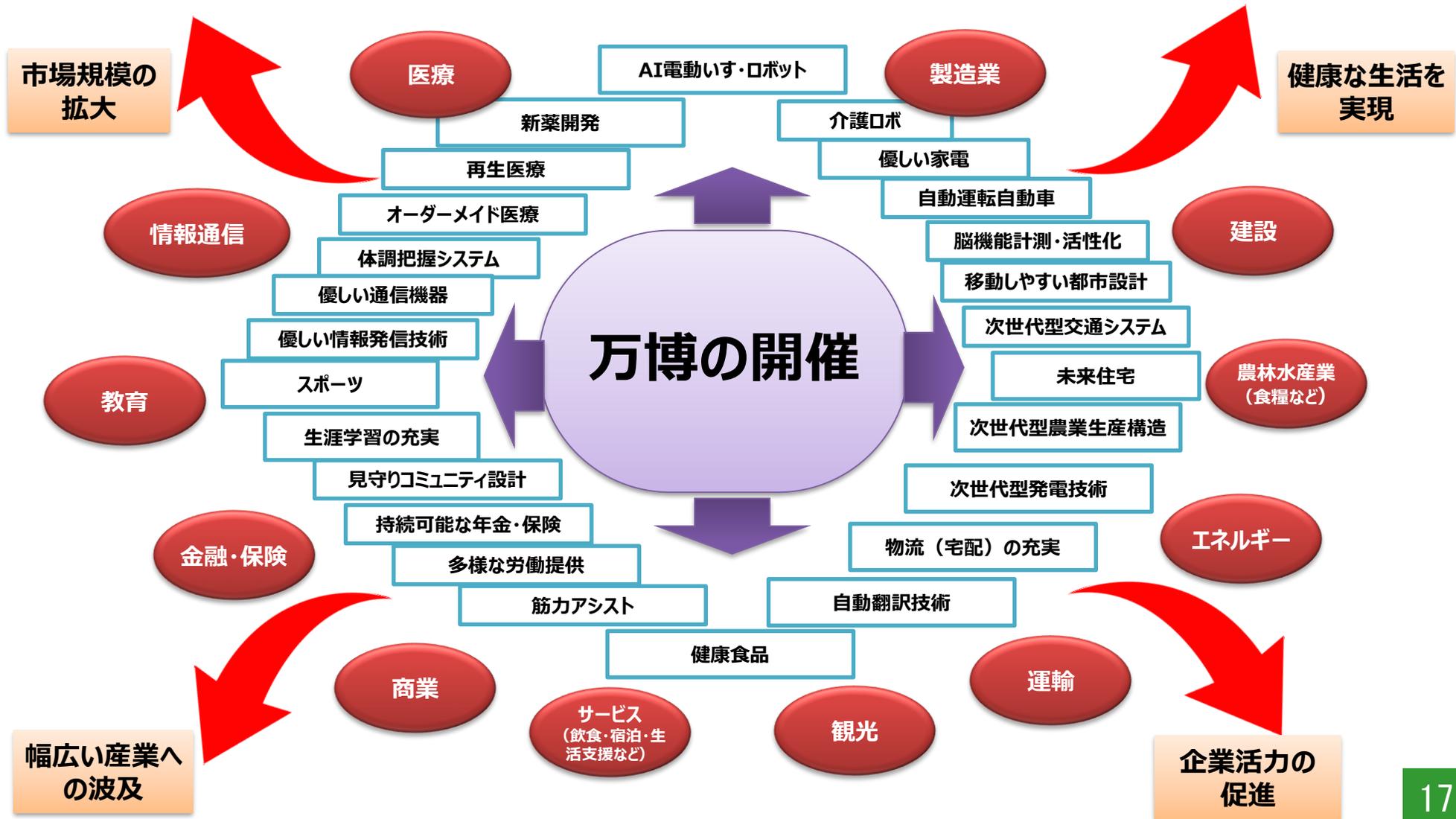


- 1 貧困をなくそう
- 2 飢餓をゼロに
- 3 すべての人に健康と福祉を
- 4 質の高い教育をみんなに
- 5 ジェンダー平等を実現しよう
- 6 安全な水とトイレを世界中に
- 7 エネルギーをみんなに、そしてクリーンに
- 8 働きがいも経済成長も
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 10 人や国の不平等をなくそう
- 11 住み続けられるまちづくりを
- 12 つくる責任、つかう責任
- 13 気候変動に具体的な対策を
- 14 海の豊かさを守ろう
- 15 陸の豊かさも守ろう
- 16 平和と公正を全ての人に
- 17 パートナーシップで目標を達成しよう

※SDGs : Sustainable Development Goals

3-3 万博開催による経済の活性化

- 2020年東京リビ°ック・パリリビ°ックに続く国家プロジェクトとしての万博開催は、大阪のみならず日本の成長に資するもの。
- 特に大阪・関西が強みを持つ健康・医療関連産業は、多様な分野との融合により**極めて広いすそ野**を有している。



3-4 経済波及効果

- 会場建設による投資、企業の出展などの運営に加えて、交通、宿泊、飲食、買い物などの消費支出などが相まって、経済波及効果は全国で約2兆円と試算されている。

万博の経済波及効果

(単位：兆円)

	建設費	運営費	消費支出	計
最終需要	0.2	0.2	0.7	1.1
経済波及効果	0.4	0.4	1.1	1.9

資料：2025国際博覧会検討会報告書（経産省）2017年3月

約2兆円

さらに、万博のコンセプト等に関わる分野での**市場の伸長**や**企業の投資**、**会場外、開催期間前後の消費需要拡大**、**関連する大規模イベント開催等**の**間接的な誘発**

4 これまでの誘致活動

4-1 2025年国際博覧会の立候補国

2018年2月6日 立候補辞退

フランス（サクレー）

〔テーマ〕
共有すべき知見、守るべき地球

ロシア（エカテリンブルク）

〔テーマ〕
世界の変革：
将来世代のためのイノベーションとよりよい生活

アゼルバイジャン（バクー）

〔テーマ〕
人的資本の発展、よりよい未来の構築

日本（大阪）

〔テーマ〕
いのち輝く未来社会のデザイン

4-2 企業による事業協賛等の実例

新幹線車両デッキへのステッカー貼り付け



万博ロゴラッピング航空機の就航



主要ターミナル駅でのデジタルサイネージ



万博ロゴラッピング車両の運行



4-3 府議会によるPR活動等

BIE調査団の歓迎（大阪府咲洲庁舎）



在阪領事館訪問



主要駅での署名活動



⇒【賛同者数】
134万人

- 【市町村や関係団体の決議】
- ◆ 全都道府県議会における決議
 - ◆ 府内全市町村における決議 等
 - ◆ 合計277団体

4-4 BIE総会における投票結果

【第1回目】	1 5 6 票
◎ 日本	8 5 票
◎ □ シア	4 8 票
アゼルバイジャン	2 3 票

【決選投票】	1 5 5 票
◎ 日本	9 2 票
□ シア	6 1 票
棄権	2 票



BIE総会会場（OECDカンファレンスセンター）



ビューイング会場（中之島）

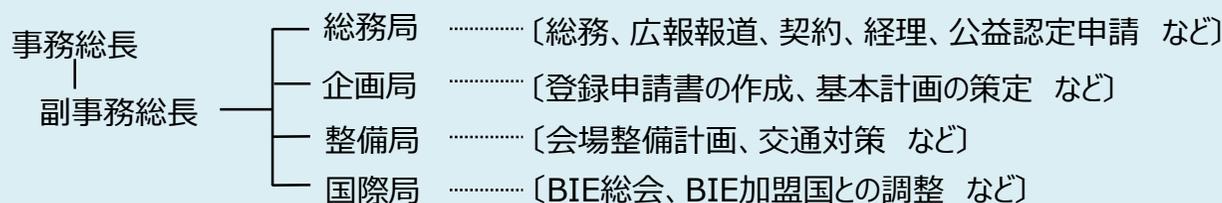


道頓堀

5 開催に向けた現在の取組み

5-1 2025年日本国際博覧会協会の概要

- **名称**
一般社団法人2025年日本国際博覧会協会（公益社団法人へ移行予定）
- **目的**
2025年日本国際博覧会の準備及び開催運営等を行い、博覧会を成功させることをもって、国際連合の掲げる持続可能な開発目標の達成に貢献するとともに、わが国の産業及び文化の発展に寄与することを目的とする。
- **設立日**
2019年1月30日（事務所開設2月1日）
- **主たる事務所の場所**
大阪府咲洲庁舎43階
- **役員構成**
 会長：中西 経団連会長
 副会長：松本 関経連会長、尾崎 関西商工会議所連合会会長・大商会頭、池田 関西経済同友会代表幹事、立石 京商会頭、家次 神商会頭、三村 日商会頭、櫻田 経済同友会代表幹事、吉村 大阪府知事、松井 大阪市長、井戸 関西広域連合長
 監事：小原 きっかわ法律事務所 代表弁護士、中務 中務公認会計士・税理士事務所 所長

■ **事務局体制**

※人員：国・大阪府・大阪市・経済界より職員を派遣。職員数：105名（2019年8月現在）

5-2 最近の主な動きと今後のスケジュール

<最近の動き>

2019年	1月30日	(一社)2025年日本国際博覧会協会設立
	4月19日	万博特措法の成立
	5月15日	博覧会協会の臨時社員総会・理事会で理事、事務総長、副事務総長選任
	5月28日	BIE(博覧会国際事務局)総会で、進捗状況報告
	5月31日	国が博覧会協会を、特措法に基づき準備・運営法人として指定
	6月27日～29日	G20大阪サミット会場「大阪・関西魅力発信スペース」等において、大阪・関西万博のPR活動を展開

<今後のスケジュール>

年	2018	2019		2020		2021	2022	2023	2024	2025
スケジュール	11/23 開催国決定	1月末 一般社団法人 博覧会協会設立	年内 公益社団法人へ移行	年内 登録申請書の提出 (目標)	6月 BIE総会 (登録申請書の承認)	秋頃 基本計画の策定	10月～ ドバイ博(登録博) (翌年4月まで)	1月～4月 ブエノスアイレス博 (認定博)		5月～11月 万博開催
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>正式な参加招聘の開始</p> <p>会場整備計画の検討 法令手続き 実施設計 会場建設工事</p> </div>								

- ①登録申請文書の提出（2020年5月期限）
 - ②参加国の招請（2020年6月以降）
 - ③開催費用の確保
 - ④観客輸送の計画、関連公共事業の実施
 - ⑤2025年に向けた機運の盛り上げ
- 等